

修正履歴 (V2.0→V2.1)

ドキュメント名			GIS 共通サービス標準仕様 V2.1		
項番	修正箇所	修正区分	準拠確認 CL への影響有無	修正内容	関連箇所等
1	1.3	変更	無	前提とする、自治体業務アプリケーションユニット標準仕様を V2.1 に変更。	
2	1.4	変更	無	引用する、PI 仕様書の発行年を 2007 年 2008 年に変更。（発行年に変更に伴う、本仕様の変更はない。）	
3	1.5	追加	無	参考とする規格に Filter Encoding(OGC 04-095) と、Styled Layer Descriptor profile of the Web Map Service (OGC 05-078r4) を追加。	
4	2.2	変更	無	V2.1 への改版に伴い、V2.1 で追加された機能についてわかるように記述を変更。	
5	4.1	追加	無	表 4.1 の地名辞典サービスの説明において、V2.1 での追加機能である地理識別子同士の関連に関する機能についての説明を追記。	
6	4.1	追加	無	表 4.1 の地図表示サービスが“オプション”であることを明記。	
7	4.1	追加	無	表 4.1 の地図表示サービスの説明において、V2.1 での追加機能である主題図画像の機能についての説明を追記。	
8	4.1	変更	無	脚注 3 の色分け表示についての記述を削除（V2.1 で主題図画像の機能を追加したため）	
9	4.2	追加	有	V2.1 改版の機能追加に伴い、機能レベルの階層化を増やし、機能レベル 01 を GS. 1.1 地名辞典基本機能 GS. 1.2 場所インスタンス関連機能 GS. 2.1 地図表示基本機能 GS. 2.2 主題図機能 とした上で、GS1.2 および GS2.2 に V2.1 空の新規機能を追加。	
10	4.3	変更	有	機能レベル階層化を増やしたことに伴う、階層 1 の機能構成図（DMM）の変更。	
11	4.3	追加	有	地名辞典サービスの、機能情報関連図（DFD）を階層 2 として追加。	
12	4.3	追加	有	地図表示サービスの、機能情報関連図（DFD）を階層 2 として追加。	
13	4.4.1	変更	有	V2.1 での機能追加に伴う、機能情報関連図（DFD）の変更。	
14	4.4.1	変更	無	【サービス概要】に場所インスタンス関連機能についての記述を追加。	
15	4.4.2	変更	有	V2.1 での機能追加に伴う、機能情報関連図（DFD）の変更。	
16	4.4.2	変更	無	【サービス概要】に主題図機能についての記述を追加	

ドキュメント名			GIS 共通サービス標準仕様 V2.1		
項番	修正箇所	修正区分	準拠確認 CL への影響有無	修正内容	関連箇所等
17	4.4.2	追加	無	脚注にて主題図の説明を追加。	
18	5.2.1(1)	追加	有	本文中に場所インスタンス関連機能を提供する際に、関連付けの情報を保持できなければならない旨の記述を追加。	
19	付録 1.1.1 (1)	変更	無	インタフェース一覧中のインタフェース番号の階層を変更（階層の追加）。機能の必須/任意の別の項目を追加。WSDL 定義のファイル名を変更。	
20	付録 1.1.1 (1)	追加	有	GS1.2.1～GS1.2.4 の機能（場所インスタンス関連機能）を追加。	
21	付録 1.1.1 (2)	変更	無	各機能のメッセージ定義における誤記等を修正。	相互接続トライアル等を受けた修正
22	付録 1.1.1 (2)	追加	無	各機能に、実装時の曖昧さをなくすためにより詳細な説明を追加した。	相互接続トライアル等を受けた追加
23	付録 1.1.1 (2) キ)	追加	有	地理識別子変換機能を新たに追加。	
24	付録 1.1.1 (2) ク)	追加	有	場所インスタンス関連検索機能を新たに追加。	
25	付録 1.1.1 (2) ケ)	追加	有	場所インスタンス関連登録機能を新たに追加。	
26	付録 1.1.1 (2) コ)	追加	有	場所インスタンス関連削除機能を新たに追加。	
27	付録 1.1.2 (1)	変更	無	インタフェース一覧中のインタフェース番号の階層を変更（階層の追加）。機能の必須/任意の別の項目を追加。WSDL 定義のファイル名を変更。	
28	付録 1.1.2 (1)	追加	有	GS2.2.1～GS2.2.2 の機能（主題図機能）を追加。	
29	付録 1.1.2 (2)	変更	無	各機能のメッセージ定義における誤記等を修正。	相互接続トライアル等を受けた修正
30	付録 1.1.2 (2)	追加	無	各機能に、実装時の曖昧さをなくすためにより詳細な説明を追加した。	相互接続トライアル等を受けた追加
31	付録 1.1.2 (2) カ)	追加	有	主題図画像取得機能を新たに追加。	
32	付録 1.1.2 (2) キ)	追加	有	主題図画像 URL 取得機能を新たに追加。	
33	付録 1.2	変更	無	各 WSDL 定義、メッセージ定義の誤記等を修正。	相互接続トライアル等を受けた修正
34	付録 1.2	変更	有	機能追加に伴う、WSDL 定義、メッセージ定義の要素等の追加。	
35	付録 1.3	変更	無	機能追加に伴う、WSDL 定義、メッセージ定義の要素等の追加。	

ドキュメント名			GIS 共通サービス標準仕様 V2.1		
項番	修正箇所	修正区分	準拠確認 CL への影響有無	修正内容	関連箇所等
36	付録 1.3.1 (1)	追加	有	機能追加に伴い、LocationInstanceAssociation の項目セットを追加	
37	付録 1.3.2 (2)	追加	有	機能追加に伴い、DrawThematicLayer、ThematicRule、ThematicFeatureInfo の各項目セットを追加。	
38	付録 2.1	変更	無	UML モデルのクラス図において、LocationInstance クラスに Equivalent、Nestiong の関係を追加。	
39	付録 2.3 表付 2.2	追加	無	関連役割として包含関係と同値関係の説明を追加。	
40	本書の位置 づけ - 図 0.1	変更	無	地域情報プラットフォームドキュメント体系に伴い、最新状態に変更。	
41	付録 1.2.1 (1)	変更	無	メッセージ定義 XML の誤記（スペルミス等）を修正。	
42	全体	変更	無	地域情報 PF → 地域情報プラットフォーム に記述変更。	
43	全体	変更	無	IF → インタフェース に記述変更。	

修正履歴（V2.1→V2.2）¹

ドキュメント名			GIS 共通サービス標準仕様 V2.2		
項番	修正箇所	修正区分	準拠確認 CL への影響有無	修正内容	関連箇所等
1	1.3	変更	無	前提とする、地域情報プラットフォームの各種仕様のバージョンを以下のように変更。 ・アーキテクチャ標準仕様 → V2.1 ・プラットフォーム通信標準仕様 → V2.1 ・自治体業務アプリケーションユニット標準仕様 → V2.2	
2	1.4	追加	無	OGC : Filter Encoding version 1.1 を引用する規格として追加。 (1.5 参考とする規格から移動)	
3	2.2.	変更	無	最終段落を、バージョンに依存しない表現に変更。	
4	4.2	変更	有	GS. 2.1.2 地図画像 URL 取得機能を‘任意’から‘必須’に変更。	
5	4.4.1	変更	無	DFD の他業務についての表現定義を変更。（業務ユニット等の羅列をやめ、定義領域に説明文として追加）	
6	4.4.2	変更	無	DFD の他業務についての表現定義を変更。（業務ユニット等の羅列をやめ、定義領域に説明文として追加）	
7	5.2.1(2)	変更	無	表 5.3 で定められる、地名辞典の識別子をそれぞれ変更。（プラットフォーム通信標準仕様の改定に伴う）	
8	5.2.2(2)	変更	無	脚注 8 から‘統合型 GIS ポータル’を削除し、‘総務省－「統合型 GIS 推進指針」の公表’を追加。	
9	6.2.1	追加	無	脚注 10 の記述（座標参照系の表記についての補足）を追加。	
10	6.2.1	変更	無	表 6.3 内の識別子の表記をスペースを含め、正しい表記に修正すると共に、脚注 11 の記述を追加。	
11	付録 1.1.1(1)	変更	無	WSDL 定義のファイル名を最新のものに変更。	
12	付録 1.1.1(2) ア)②(i)	変更	無	PI 型（大文字）から pi 型（小文字）に変更。（以下、該当箇所同様）	
13	付録 1.1.1(2) イ)①(ii)	変更	無	指定された地理識別子情報に対応する場所インスタンスが存在しない場合は、当該要素に null を設定して返すことを明記。	
14	付録 1.1.1(2) イ)②(i)	変更	無	結果返却が PI 型となっていた誤記を、locationinstance 型で返却するように修正。	
15	付録 1.1.1(2) オ)①(ii)	変更	無	場所インスタンス削除機能の入力メッセージにおける引数が PI 型となっていた誤記を、geographicIdentifier 型に修正するとともに説明を追記。	
16	付録 1.1.1(2) カ)①(i)	変更	無	version 引数に設定すべき値を 2.1 から 2.2 に変更。	

¹ 記述追加による、表番号、図番号、脚注番号等のずれについては履歴としては記載していない。
すなわち、章・節・項番や表・図・脚注番号等は改定後の番号で記載している。

ドキュメント名			GIS 共通サービス標準仕様 V2.2		
項番	修正箇所	修正区分	準拠確認 CL への影響有無	修正内容	関連箇所等
17	付録 1.1.1(2)カ)①	変更	無	表付 1. 1 および表付 1. 2 のタイトル行が ‘地図表示サービス’ となっていた誤記を ‘地名辞典サービス’ に修正。また、表付 1. 2 内の説明文を一部補強。	
18	付録 1.1.1(3)	変更	無	可読性を高めるため、付録 1. 3 としていた項目セット辞書定義をこの位置に変更するとともに、複合型も含め、一表として記載。	
19	付録 1.1.2(2)	変更	無	WSDL 定義のファイル名を最新のものに変更。	
20	付録 1.1.2(2)ア)	変更	有	地図画像取得機能は ‘必須’ から ‘オプション’ に変更。	
21	付録 1.1.2(2)ア) ①(i)	変更	無	スタイル指定についての説明文の記載を追加し強化。	
22	付録 1.1.2(2)ア) ①(v)	変更	無	地図表示サービスにおいて少なくとも ‘JGD2000 / (B, L)’ の座標参照系をサポートしなくてはならないことを明記。また、投影法について ISO 19128 で記載される内容に従わない場合、要求側と応答側で投影法の合意をしておく必要あがることを明記。	
23	付録 1.1.2(2)ア) ①(viii)	変更	無	少なくとも対応すべき画像フォーマットを明記。	
24	付録 1.1.2(2)ア) ①(ix)	変更	無	地図画像の透過サポートに関するルールを明記。	
25	付録 1.1.2(2)ア) ①(x)	変更	無	色指定のフォーマットについて曖昧さを回避するように表現を強化。	
26	付録 1.1.2(2)イ)	変更	有	地図表示サービスは、地図画像 URL 取得機能を必ず実装しなければならないことを明記。	
27	付録 1.1.2(2)イ) ②(i)	変更	無	& (アンパサンド) の扱いについての留意事項を追記。	
28	付録 1.1.2(2)ウ) ②(i)	変更	無	少なくとも対応すべき画像フォーマットを明記。	
29	付録 1.1.2(2)エ) ①(iii)	変更	無	featureCount 要素で指定された数を超える地物情報が検索された場合の処理について明記。	
30	付録 1.1.2(2)オ) ①(i)	変更	無	version 引数に設定すべき値を 2.1 から 2.2 に変更。	
31	付録 1.1.2(2)オ) ①(ii)	変更	無	表付 1. 8 の説明内の一部を強化。	
32	付録 1.1.2(2)オ) ②(i)	追加	無	説明に、【サービスメタデータへの設定内容】を追加・補強。	
33	付録 1.1.2(2)	変更	無	脚注 18 を追加し、FilterType 型に例外的に mixed content が	

ドキュメント名			GIS 共通サービス標準仕様 V2.2		
項番	修正箇所	修正区分	準拠確認 CL への影響有無	修正内容	関連箇所等
	カ) ①(iii)			含まれる個とを明記。また、FilterType 型の空間演算条件についての留意点を追記。	
34	付録 1.1.2(2) キ) ②(i)	変更	無	& (アンパサンド) の扱いについての留意事項を追記。	
35	付録 1.1.2(3)	変更	無	可読性を高めるため、付録 1. 3 としていた項目セット辞書定義をこの位置に変更するとともに、複合型も含め、一表として記載。	
36	付録 1.2	変更	無	プラットフォーム通信標準仕様の改定等に伴い、WSDL および XML スキーマ定義を修正。具体的には以下の事項を修正。 ・ 名前空間の変更 ・ 「名前空間を持たない要素の禁止」 ルールの明確化に伴い、XML スキーマ属性に elementFormDefault="qualified" 属性を追加 ・ 共通ヘッダ定義を、プラットフォーム通信標準で定義される共通の XSD をインポート ・ 値指定省略時の運用の明確化に伴い、各要素における不要な nillable 属性の削除 ・ 要素の出現回数や、大文字・小文字、誤記などの整合誤記など、メッセージ定義との不整合を修正	
37	付録 3	変更	無	空間参照系や場所型定義における URN 表記をプラットフォーム通信標準仕様で定める URN 表記に従って変更。	
38	付録 3.2	変更	無	住所情報における符号化規則を、XML による符号化から、BNF 表記による符号化規則作成規則での符号化規則に変更。 ・ 地名辞典サービスでのメッセージ交換における運用を考慮 ・ “内字住所” を地理識別子とする。 ・ その他の住所情報については、代替地理識別子への設定とする。	
39	付録 3.3	変更	無	識別番号情報における符号化規則を、XML による符号化から、BNF 表記による符号化規則作成規則での符号化規則に変更。 ・ 地名辞典サービスでのメッセージ交換における運用を考慮 ・ 各業務ユニットから抽出される、“識別番号” を地理識別子とする。 ・ その他の住所情報については、代替地理識別子への設定とする。	